

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
芸術・音楽 I	1 年 (除、音 コース選択)	2	音楽 I 改訂版 Tutti (教育出版)	Music Note 基礎から学ぶ高校音楽 (啓隆社) プリント
科目の概要 と目標	<p>○表現領域 歌唱：歌詞の意味や曲想を感じとり、内容を味わうとともに、発声や表現を工夫する。 器楽：アンサンブルの楽しさを味わわせるとともに、楽器の基本奏法を身につける。 創作：テーマにそった多様な音楽表現を楽しむ。</p> <p>○鑑賞領域 音楽の時代背景や音楽の諸要素に着目させながら鑑賞する能力を養う。</p>			
授業の進め 方	<p>第 1 学期は「校歌」の斉唱から始める。楽譜に書かれている様々な音楽用語を学習しながら歌います。その後芸術歌曲・劇音楽曲へと進む。それらと並行して音楽理論に入る。夏休みは各自の得意分野の練習を通して音楽への興味を高める。 第 2 学期は自己表現の場として発表会から始まり、協力し合って作り上げる楽しさを味わうことのできるアンサンブルの学習へと入る。 第 3 学期は 1, 2 学期で学んだことをもとにして、クラスごとの創作ミュージカルを上演する。</p>			
評価の観点 と方法	<p>第 1, 2 学期は授業時間内に行う音楽会形式の発表会が実技試験の扱いとなる。また音楽理論についても学期ごとに授業において筆記試験を行います。第 3 学期の創作ミュージカルは参加状況、提出したレポートを点数化する。 年間の成績はそれぞれの試験の点数化に平常点を加味したもので出す。 毎回の授業に集中して参加し、積極的な自己表現をすることが大きな鍵になる。</p>			

	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期	「曲想を生かして歌おう」	<p>【学習内容】 校歌を斉唱で、ポピュラーソングを斉唱・合唱で歌う。</p> <p>【到達度目標】 発声の基本を身につけ、無理の無い姿勢で歌うことができること。歌うことの楽しさを感じ取ることができること。</p>
		「芸術歌曲の楽しみ」	<p>【学習内容】 イタリア・ドイツ歌曲を斉唱・合唱で歌う。</p> <p>【到達度目標】 歌詞や曲想について理解し、表現を工夫しながら歌うことができること。</p>
		「劇音楽の世界」	<p>【学習内容】 ミュージカル・オペラ・オペレッタから親しみやすい楽曲の歌唱に取り組む。また作品の鑑賞もする。</p> <p>【到達度目標】 劇の内容にふさわしい表現を工夫しながら歌唱に取り組むことができること。表現の多様性を味わいながら興味を持って鑑賞できること。</p>
授 業 内 容	2 学 期	「得意なもので発表しよう」	<p>【学習内容】 自分の得意とする分野・曲目を選び練習する。</p> <p>【到達度目標】 自分の得意とする分野を人前で発表することができること。</p>
		「合唱の楽しみ」	<p>【学習内容】 校歌の混声 4 部合唱や合唱曲に取り組む。</p> <p>【到達度目標】 各声部の役割を理解し、豊かなハーモニーと響きを味わうことができること。</p>
	3 学 期	「器楽アンサンブルを楽しもう」	<p>【学習内容】 3～4 人のグループを組んでリコーダーアンサンブルに取り組む。和楽器やハンドベル等、曲種にふさわしい表現を工夫する。</p> <p>【到達度目標】 基本的な奏法を身につけ、他のパートを意識しながら曲にあった表現を工夫できること。</p>
	3 学 期	「創作ミュージカルを発表しよう」	<p>【学習内容】 1, 2 学期で学んだことに基づいて、ミュージカルを上演することにより、様々な表現方法に取り組む。 内容を理解し、イメージをもって創造的にアレンジする。</p> <p>【到達度目標】 クラス全員で協力し合い音楽や演出を作り上げていく楽しさを味わうことができること。</p>